



平成29年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月14日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6630 URL http://www.ya-man.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日 配当支払開始予定日 平成29年1月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第2四半期の連結業績(平成28年5月1日~平成28年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	10,731	28.3	2,313	274.2	2,319	296.5	1,500	335.0
28年4月期第2四半期	8,363	31.3	618	607.0	585	—	344	—

(注) 包括利益 29年4月期第2四半期 1,497百万円(338.2%) 28年4月期第2四半期 341百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第2四半期	263.08	—
28年4月期第2四半期	59.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第2四半期	13,084	8,212	62.8
28年4月期	11,373	6,817	59.9

(参考) 自己資本 29年4月期第2四半期 8,212百万円 28年4月期 6,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	18.00	—	18.00	36.00
29年4月期	—	18.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日~平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,253	18.0	2,836	175.8	2,832	182.6	1,818	207.4	318.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年4月期2Q	5,834,888株	28年4月期	5,834,888株
29年4月期2Q	132,069株	28年4月期	132,039株
29年4月期2Q	5,702,840株	28年4月期2Q	5,834,736株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、平成28年12月14日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用環境の改善を背景に、弱含みながらも緩やかな回復基調で推移したものの、アジア新興国の景気の下振れリスクや英国のEU離脱問題などの懸念事項も多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コスト削減のための様々な取り組みを通して足元の体質強化に努めながら、海外展開やブランドイメージの向上にも積極的に取り組んでまいりました。

販売が好調であったことに加え、原価低減の取り組みが奏功したこと、為替の円高傾向が持続したこと、中国向けの売上が想定より前倒しで計上されたことなどにより、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,731百万円(前年同四半期比28.3%増)、経常利益は2,319百万円(前年同四半期比296.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,500百万円(前年同四半期比335.0%増)と前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を經由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

当第2四半期累計期間では、ショッピング専門チャンネル向けがやや落ち込んだものの、地上波通販会社向け、カタログ通販会社向けがいずれも好調で、売上高は2,774百万円(前年同四半期比13.1%増)、セグメント利益は1,230百万円(前年同四半期比54.6%増)と、前年同四半期を上回りました。

#### ② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間では、大手家電量販店向け卸売事業が堅調であったことに加え、免税店向け卸売事業がインバウンド需要の好調を受けて大きく伸長したことから、売上高は3,126百万円(前年同四半期比47.9%増)、セグメント利益は1,401百万円(前年同四半期比114.8%増)と、前年同四半期を大きく上回りました。

#### ③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間では、インフォーマーシャルや各種媒体広告について、売上に対する効率を重視しつつブランドを俯瞰した広告にも金額を投下する方針を継続した結果、売上高は3,429百万円(前年同四半期比4.2%減)、セグメント利益は808百万円(前年同四半期比10.7%減)と、前年同四半期並みとなりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,710百万円増加し、13,084百万円となりました。現金及び預金の増加1,762百万円、商品及び製品の増加113百万円、原材料及び貯蔵品の減少83百万円、有形固定資産の減少108百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ315百万円増加し、4,872百万円となりました。未払法人税等の増加605百万円、未払金の減少215百万円、長期借入金の減少241百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,395百万円増加し、8,212百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,500百万円及び剰余金の配当102百万円による利益剰余金の増加1,397百万円が主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降につきましては、引き続きコスト削減、社内体制の整備、新製品の研究開発などの取り組みに注力していくほか、ブランド認知のための広告投資にも経営資源を配分していく予定です。

なお、平成28年11月14日に公表した業績予想に修正はありません。

配当につきましては、通期の利益水準を鑑み、検討してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,813,824	7,576,028
受取手形及び売掛金	1,898,257	1,879,837
有価証券	50,179	—
商品及び製品	1,470,464	1,583,536
仕掛品	82,327	76,099
原材料及び貯蔵品	240,781	157,090
未収入金	720,986	797,894
その他	251,249	251,848
貸倒引当金	—	△10,546
流動資産合計	10,528,069	12,311,789
固定資産		
有形固定資産	532,962	424,862
無形固定資産	157,658	183,894
投資その他の資産	154,902	164,000
固定資産合計	845,523	772,757
資産合計	11,373,593	13,084,547
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,194,229	1,275,327
1年内返済予定の長期借入金	483,960	483,960
未払金	1,137,657	922,282
未払法人税等	298,861	904,534
賞与引当金	31,170	34,075
返品調整引当金	115,189	96,507
その他	196,635	300,084
流動負債合計	3,457,702	4,016,771
固定負債		
長期借入金	1,093,682	851,702
その他	4,931	3,728
固定負債合計	1,098,613	855,430
負債合計	4,556,315	4,872,202
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	3,984,495	5,382,141
自己株式	△292,923	△292,998
株主資本合計	6,819,164	8,216,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,809	3,476
為替換算調整勘定	△4,695	△7,865
その他の包括利益累計額合計	△1,886	△4,389
純資産合計	6,817,278	8,212,345
負債純資産合計	11,373,593	13,084,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	8,363,940	10,731,718
売上原価	3,437,262	3,608,416
売上総利益	4,926,677	7,123,301
返品調整引当金戻入額	128,293	115,189
返品調整引当金繰入額	96,126	96,507
差引売上総利益	4,958,844	7,141,983
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,043,008	2,344,123
貸倒引当金繰入額	1,278	12,965
給料及び手当	304,991	333,991
賞与引当金繰入額	27,125	34,075
減価償却費	42,964	27,143
研究開発費	56,099	69,525
その他	1,865,169	2,006,820
販売費及び一般管理費合計	4,340,636	4,828,645
営業利益	618,208	2,313,338
営業外収益		
受取利息	426	797
受取配当金	302	26
為替差益	—	19,027
その他	5,694	3,655
営業外収益合計	6,423	23,506
営業外費用		
支払利息	8,612	8,920
支払保証料	661	660
為替差損	20,616	—
売上割引	4,250	3,446
その他	5,387	4,138
営業外費用合計	39,529	17,165
経常利益	585,102	2,319,679
特別利益		
固定資産売却益	—	31,921
特別利益合計	—	31,921
特別損失		
固定資産除却損	5,274	5,332
特別損失合計	5,274	5,332
税金等調整前四半期純利益	579,827	2,346,267
法人税等	234,942	845,971
四半期純利益	344,885	1,500,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	344,885	1,500,296

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	344,885	1,500,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,340	667
為替換算調整勘定	△713	△3,169
その他の包括利益合計	△3,053	△2,502
四半期包括利益	341,831	1,497,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,831	1,497,793
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	579,827	2,346,267
減価償却費	68,328	71,574
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,278	10,486
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,175	2,905
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△32,167	△18,553
受取利息及び受取配当金	△728	△823
支払利息	8,612	8,920
為替差損益(△は益)	△586	24,549
固定資産除却損	5,274	5,332
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△31,921
売上債権の増減額(△は増加)	746,437	114,643
たな卸資産の増減額(△は増加)	185,173	△23,912
仕入債務の増減額(△は減少)	74,782	82,577
未払金の増減額(△は減少)	144,444	△203,961
その他	△186,306	△31,905
小計	1,597,544	2,356,180
利息及び配当金の受取額	503	835
利息の支払額	△9,443	△9,423
法人税等の支払額	△193,292	△269,677
法人税等の還付額	15,659	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,410,972	2,077,918
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52,594	△63,497
有形固定資産の売却による収入	—	140,000
無形固定資産の取得による支出	△25,867	△51,153
定期預金の預入による支出	△386,853	△386,871
定期預金の払戻による収入	386,837	386,853
その他	293	△12,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,186	12,712
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△205,985	△241,980
リース債務の返済による支出	△8,044	△7,328
自己株式の取得による支出	—	△75
配当金の支払額	△105,037	△102,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	680,932	△352,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	438	△26,513
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,014,157	1,712,006
現金及び現金同等物の期首残高	3,145,565	5,219,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,159,723	6,931,057

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成27年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,452,482	2,113,761	3,578,500	8,144,744	219,196	8,363,940	—	8,363,940
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	31,135	31,135	△31,135	—
計	2,452,482	2,113,761	3,578,500	8,144,744	250,331	8,395,076	△31,135	8,363,940
セグメント利益又は 損失(△)	795,728	652,209	905,206	2,353,145	△7,729	2,345,415	△1,727,207	618,208

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.A LTD.等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,727,207千円には、セグメント間取引消去15,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,742,807千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,774,047	3,126,106	3,429,839	9,329,993	1,401,724	10,731,718	—	10,731,718
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	12,939	12,939	△12,939	—
計	2,774,047	3,126,106	3,429,839	9,329,993	1,414,664	10,744,657	△12,939	10,731,718
セグメント利益	1,230,515	1,401,162	808,144	3,439,822	453,716	3,893,538	△1,580,200	2,313,338

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.A LTD.等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,580,200千円には、セグメント間取引消去15,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,595,800千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。